

外国協定大学派遣留学生制度

「外国協定大学派遣留学生制度」とは、本学が学生交換協定を締結している外国の大学へ、本学に在学しながら留学できる制度です。留学先大学の授業料は、原則として協定により免除されます(寮費・食費・渡航費などは自己負担)。また、協定内容などによっては奨学金が支給される大学もあります。

現在、派遣留学先は世界37カ国(地域)176大学にのぼります(2023年3月31日現在)。

■ 大学院生を受け入れている主な協定校

スミス大学 (アメリカ)	アメリカの名門女子大学群 Seven Sisters のうちの1校で、派遣留学生制度を通じて学際研究Diplomaのプログラムに参加することができます。また、週10時間を超えない範囲で日本語プログラムの活動支援に参加することを条件に、AKP理事会並びにスミス大学から奨学金(寮費・食費の免除)も付与されます。
KCJS 加盟校 (アメリカ)	日本語や日本文化の研究に熱心な13校の大学が参加するコンソーシアムで、加盟校はいずれもアメリカの名門校です。これらの加盟校のうち、毎年数校が、本学の大学院生を受け入れます。
スタンフォード大学 (アメリカ)	Visiting Student Researcher の身分で留学し、スタンフォード大学所属の教員の下で研究を行います。派遣留学生にも個人用のスペースが提供されるなど、充実した環境の下で研究を進めることができます。



スミス大学



KCJS 加盟校

■ 派遣留学先

アイルランド

- ダブリン・シティ大学
人文社会科学部

アゼルバイジャン

- ハザール大学

アメリカ

- ウィットマン大学
- ウィリアムズ大学
- ウェズリアン大学
- オーバリン大学
- カールトン大学
- コネチカット大学
- コルビー大学
- スミス大学
- バックネル大学
- ベイツ大学
- ボモナ大学
- マウントホリヨーク大学
[以上 AKP 加盟校]

- イェール大学
- エモリー大学
- コーネル大学
- コロンビア大学
- シカゴ大学
- スタンフォード大学
- パージニア大学
- ハーバード大学
- ブラウン大学
- プリンストン大学
- ペンシルベニア大学
- ポスト大学
- ワシントン大学 セントルイス
[以上 KCJS 加盟校]

- アーカンソー工科大学
- ウェスタン・ミシガン大学
- エンブリー・リドル航空大学
- カラマズ大学
- カリフォルニア大学
- コロラド大学ボルダー校
- サルベ・レジーナ大学
- サンディエゴ州立大学

- ジョージ・メイソン大学
- セント・メアリーズ大学
- デンバー大学
- ニューオーリンズ大学
- ネブラスカ大学カーニー校
- ノースカロライナ大学
シャーロット校
- ハワイ大学ヒロ校
- ハワイ大学マノア校
- ポートランド州立大学
- マレー州立大学
- ミズーリ大学
- ミリケン大学
- モンタナ大学
- ユタ大学
- リンフィールド大学
- ロチェスター工科大学

アルゼンチン

- トルキア・ティ・テラ大学

イギリス

- ウォリック大学
- エディンバラ大学
- ケンブリッジ大学
セントキャサリンズ コレッジ
- シェフィールド大学
- マンチェスター大学
- リーズ大学
- ロンドン大学(SOAS)

イスラエル

- ヘブライ大学

イタリア

- ヴェネツィア大学
- トリノ大学
- ボローニャ大学
- ミラノ大学
- ローマ大学

インドネシア

- ガジャマダ大学

オーストラリア

- ウーロンゴン大学
- サンシャイン・コースト大学
- シドニー大学
- チャールズ・ターウィン大学
- ティーキン大学
- ニューイングランド大学
- ニュー・サウス・ウェールズ大学
- マドック大学
- マッコリー大学
- メルボルン大学

オランダ

- ハーグ応用科学大学
- ライデン大学

カナダ

- ピクトリア大学
- ビショップス大学
- プリティッシュ・コロンビア大学
- モントリオール大学文理学部
- レイクヘッド大学
- ロイヤル・ローズ大学

韓国

- ソウル大学
- ソウル市立大学
- ソウル女子大学
- 延世大学
- 韓国外国語大学
- 高麗大学
- 仁川大学
- 全南大学
- 梨花女子大学
- 嶺南大学

スイス

- チューリヒ大学
- ルツェルン大学

スウェーデン

- ヨーテボリ大学
経済商学部

スペイン

- サラマンカ大学
- サン・アントニオ・ムルシア・カトリック大学
- バルセロナ自治大学
- ポンベウファブラ大学

タイ

- タマサート大学
- チュラロンコン大学
- バヤップ大学

台湾

- 国立政治大学
- 国立台湾師範大学
- 国立台湾大学
- 靜宜大学
- 淡江大学
- 中国文化大学
- 東吳大学
- 輔仁大学

チェコ

- カレル大学
- 西ボヘミア大学
- マサリク大学

中国

- 吉林大学
- 四川大学
- 暨南大学
- 重慶郵電大学
- 西安交通大学
- 清華大学
- 西北大学
- 浙江農林大学
- 中国人民大学
- 天津外国語大学
- 東北師範大学
- 武漢大学
- 復旦大学
- 北京師範大学
- 北京大学歴史学部

- 香港教育大学
- 香港城市大学
- 香港中文大学
- 嶺南大学

チリ

- チリ・カトリック大学

デンマーク

- オーフス大学

ドイツ

- テュービンゲン大学
- デュッセルドルフ大学
- フランクフルト大学
- マインツ大学
- ミュンヘン大学 文化学部

トルコ

- サバンチ大学
- 中東工科大学

ニュージーランド

- ウェリントン・ビクトリア大学

ノルウェー

- オスロ大学
- ヘルゲン大学

ハンガリー

- エトヴェシュ・ローランド大学
- ペーチ大学

フィリピン

- アテネオ・デ・マニラ大学
- テラサル大学
- フィリピン大学 ティリマン校

フィンランド

- イースタン・フィンランド大学
- タンペレ大学
- ヘルシンキ大学

フランス

- エクス・マルセイユ大学
- エクセリア・グループ
- サンジェルマン・アン・レー政治学院
- ストラスブール大学
- ソルボンヌ大学
- バリ政治学院
- バリ大学-ナンテール
- リヨン政治学院
- レンヌ政治学院
- 国立東洋言語文化大学

ベトナム

- ハノイ工科大学

ベルギー

- トマセオ応用科学大学
- ブリュッセル自由大学

ポーランド

- ヤギェウォ大学
- ワルシャワ大学

マレーシア

- マラヤ大学
- マレーシア科学大学
- マレーシア国際イスラーム大学

メキシコ

- ラス・アメリカス大学

リトアニア

- ヴィータウタス・マグナス大学

ルーマニア

- ブカレスト大学

ロシア

- サントペテルブルク経済大学

アーモスト大学への派遣留学生制度

アーモスト大学への派遣留学生制度は、「新島スカラー」(同志社の創立者・新島襄を記念してアーモスト大学が1954年に設立)、「同志社新島スカラー」(寄付金の一部を利用して同志社が1984年に設立)の2種類があり、隔年で実施されますので、事実上毎年1名をアーモスト大学に派遣するもので、アーモスト大学の3年生に正規学生として編入する制度です。応募資格は同志社大学または同志社女子大学の3年次または4年次在学学生、同大学院博士課程(前期課程)在学学生、修士課程在学学生、専門職学位課程在学学生です。留学期間は2年間となっており、アーモスト大学の学位(BA)が取得できます。その間の授業料及び寮費・食費・学生活動費相当額の奨学金が支給されます。



ダブル・ディグリープログラム

法学研究科、理工学研究科、生命医科学研究科では、協定大学にそれぞれ一定期間在学し、履修単位の相互認定を含め、定められた課程を修了することによって、双方の大学で学位を取得できます。双方の大学の協力により、別途個人留学する場合と比較して、時間・費用・修得単位数など多くの面において優遇されたプログラム構成となっています。(2023年3月31日現在)

協定大学

法学研究科

- チューリヒ大学
- タマサート大学
- 中国人民大学
- 東呉大学
- リーズ大学
- 中国政法大学

理工学研究科・生命医科学研究科

- ミラノ工科大学
- 西安交通大学*
- モンス大学
- エコール・セントラル国立理工科学院連合(リール校、リヨン校、マルセイユ校、ナント校、パリ校)
- マドリッド工科大学
- リール国立化学高等専門学校
- パリ市立工業物理化学高等専門学校
- ウィーン工科大学
- 国立高等鉱業学校アルピ・カルモー校*
- 西安電子科技大学*

※ 理工学研究科のみ



本学内に拠点を設けている外国の教育・研究機関

同志社大学は、教育理念の1つである「国際主義」に基づき、古くから外国の教育・研究機関と交流を行ってきました。それらの教育・研究機関の中には、学生の交換や研究者の交流のみにとどまらず、日本における拠点を同志社大学内に設置している場合があります。2023年3月31日現在、本学内に日本における拠点を設けている外国の教育・研究機関は下記のとおりです。

これらのセンターはそれぞれの機関の日本における拠点として留学プログラムを運営する他、本学との共同シンポジウムの開催などを通じて積極的な交流を行っています。またAKP同志社留学生センター、スタンフォード日本センター、チュービンゲン大学同志社日本研究センター、京都アメリカ大学コンソーシアム(KCJS)は、それぞれの機関の留学生向けに開講される科目の聴講を一部、本学学生にも許可しています。本学学生はそれらの科目を、同志社大学の学部の全学共通教養教育科目である「AKP科目」「スタンフォード大学科目」「チュービンゲン大学科目」「KCJS科目」として履修することになり、科目履修においても本学学生と各センター留学生の活発な交流が行われています。

AKP同志社留学生センター

Associated Kyoto Program(AKP)は、アメリカを代表する13の名門リベラルアーツ・カレッジが日本語や日本文化などの日本学教育を目的とし、本学に設置した機関です。1972年に開設されたAKPの歴史は古く、現在まで約1,700名の留学生が同志社大学を拠点として日本文化を体験し、日本に関する見識を深めてアメリカにおける日本理解に大きな貢献を果たしています。また、AKP理事会や加盟校からの奨学金を受けて、本学からもAKP加盟校へ学生を派遣しています。



AKPアメリカ本部が設置されているPomona大学のキャンパス

スタンフォード日本センター スタンフォード大学京都プログラム

アメリカの名門大学、スタンフォード大学が本学のキャンパス内に開設したプログラムです。同プログラムでは、日米間の相互理解をより一層促し、緊密な関係を続けていくために、今後日本と関わりを持つ上で必要となる知識・資質を身に付けたアメリカの若い世代の育成を目的としています。開催時期は、春と秋の2学期です。

また本学からは、派遣留学生制度により大学院生をスタンフォードへ送り出しています。



チュービンゲン大学 同志社日本研究センター

ドイツのチュービンゲン大学が1993年本学に設置したセンター(TCJS)で、同大学の研究の日本拠点になっています。約25名の留学生を1年間受け入れ、日本語と日本文化を学ぶための講義が行われています。同大学には本学のEUキャンパスも設置しており、学生交換協定や教員交換協定の締結により、本学からも留学生を派遣したり、定期的に合同ワークショップやシンポジウムを開催するなど、研究者の交流も活発に行われています。



京都アメリカ大学コンソーシアム

「京都アメリカ大学コンソーシアム」Kyoto Consortium for Japanese Studies(KCJS)は、1989年に京都市内に設立された海外留学生プログラムです。このプログラムは日本語や日本文化の研究が盛んなアイビーリーグ校を含むアメリカの13大学から成りたっており、京都の歴史的・文化的な資産を活かして、高度な教育環境を提供し、日本研究を志す米国の大学生と、知的で文化的な交流を広く進めています。



図書館では、皆さんの教育や研究に関わる学術情報収集へのニーズに対し、様々なサービスを提供しています。

Webで提供する図書館サービス

① DOORS:学術情報検索システム

<https://doors.doshisha.ac.jp/> 

DOORSでは、今出川・京田辺両キャンパスの図書館だけでなく学部・研究科・研究所なども含めて本学で所蔵する全ての図書や雑誌、電子資料を検索することができます。また、同志社女子大学をはじめとした他大学所蔵資料などの検索も可能です。

DOORSは資料の所在や利用状況を調べるだけでなく、貸出中の資料の予約や他大学・他機関への複写依頼、文献管理ツールとの連携、資料の購入依頼など、多種多様な図書館サービスをWeb上で実現する窓口の役割も果たしています。

② 学術リポジトリ

<https://doshisha.repo.nii.ac.jp/> 

本学発行紀要・研究報告書・学位論文などを検索・閲覧することができます。

③ デジタルコレクション

<https://dgcl.doshisha.ac.jp/digital/collections/> 

本学が所蔵する貴重資料の高精細な画像を閲覧することができるデジタルアーカイブです。

④ DOGS Plus:統合検索システム

<https://doshisha.summon.serialssolutions.com/> 

1つのサーチボックスにキーワードを入力するだけで、学内で利用できる複数のデータベース・電子ジャーナル・電子書籍や本学所蔵の図書・雑誌、視聴覚資料などを一度で検索することができます。また、世界中にある学術情報から学内で利用できる資料以外も検索することができます。

⑤ データベース検索ポータル

<https://library.doshisha.ac.jp/database/index.html> 

基本的なものから高度かつ専門的なものまで、100種類以上のデータベース、数万タイトルに及ぶ電子ジャーナル・電子書籍を提供しています。これらの電子資料は、学内はもちろん、学外からもVPN接続により利用することができます。

(※一部、VPN接続では利用できないものもあります。)

⑥ 電子書籍試し読み

https://library.doshisha.ac.jp/database/database_list/ebook_trial.html 

Maruzen eBook Library、KinoDen、ProQuest Ebook Centralに収録されている電子書籍の閲覧や購入リクエストができるサービスです。

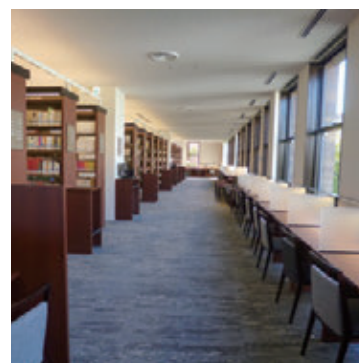
レファレンスサービス

特定のテーマに関する資料収集方法のアドバイスや、国内外他機関への文献複写・図書借用依頼の申し込み受付など、各種利用相談に応じています。

本学で所蔵していない資料の利用

本学で所蔵していない資料であっても、他大学・他機関の閲覧利用や文献複写・図書借用サービスを利用することで、入手できる資料の幅が広がります。また、同志社女子大学や協定を結んでいる関西大学、関西学院大学、立命館大学では図書館での閲覧及び貸出、早稲田大学では閲覧サービスを受けることができます。

(※一部、事前申し込みが必要な資料もあります。)



ICT Information and Communication Technology

大学院での研究活動にICTの活用は欠かすことができません。

本学では、皆さんの多様な要望に応え、安心して利用できるよう、最新のICT設備を整備し、提供しています。

研究活動を支援する充実した情報教育環境

インターネットへは、学術情報ネットワークであるSINET6に80Gbpsで接続しています。また、学内全域で約800台の無線LANアクセスポイントを設置する等、広帯域かつ利便性の高いネットワーク環境を整備しています。VPN接続で学内ネットワークに接続し、学外からでも学内限定のサービスを利用することができます。国際無線LANローミング基盤「eduroam」に加盟しており、学会・留学などで国内外の大学・研究機関を訪問する際にも、本学のユーザIDを利用した無線LAN接続が可能であり、どこからでも研究活動を行うことができます。

日本マイクロソフト社との教育機関向け総合契約(EES)を締結しており、正規学生であれば、在籍期間中はOffice製品を無償で個人所有のパソコンにインストールし、利用することができます。両校地には各種画像編集・動画編集・スタジオ収録などができる環境を整備しており、研究成果を発表する際、視覚的に訴求力の高いマルチメディアコンテンツを作成することが可能です。



研究開発推進機構

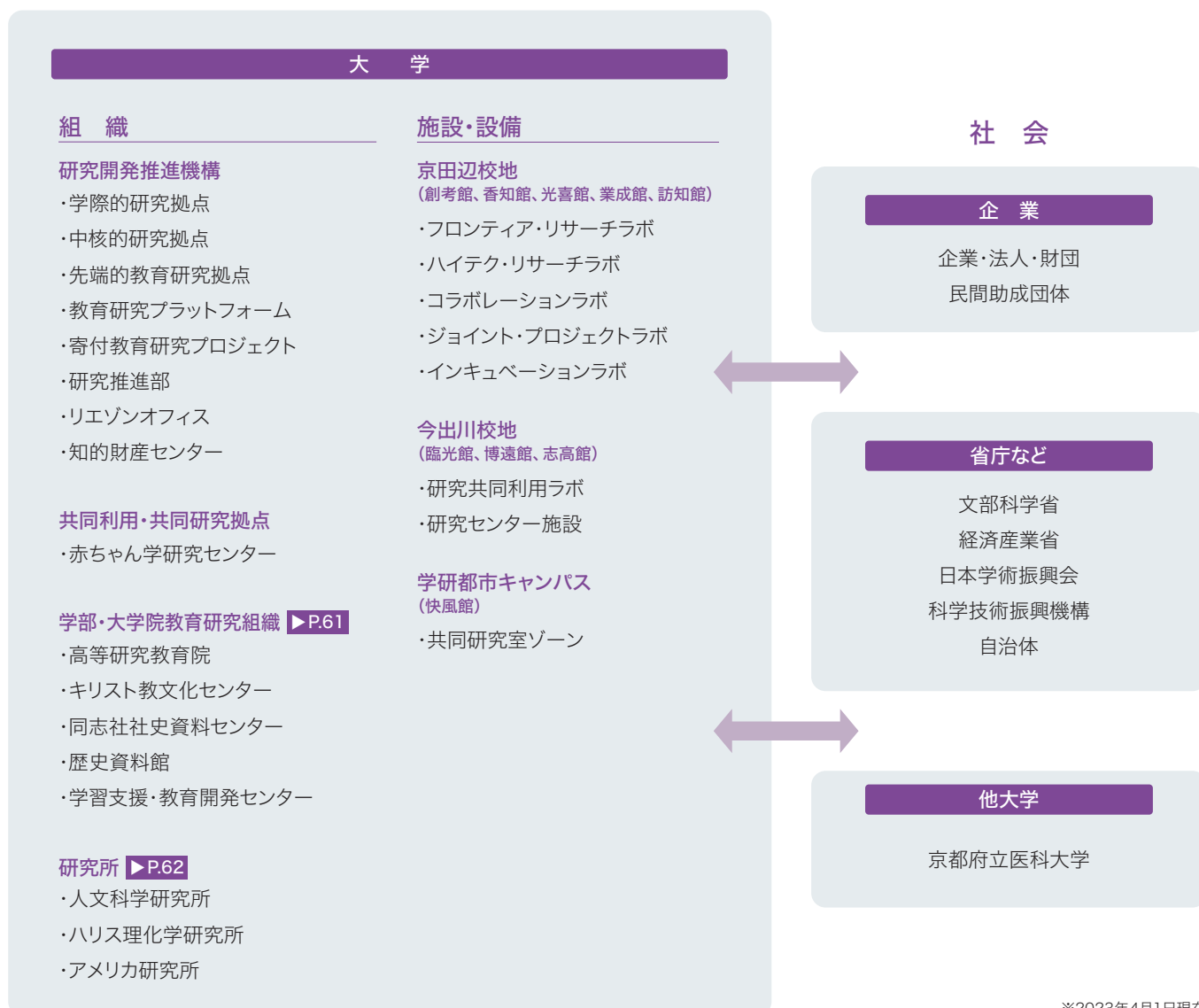
同志社大学の特色を活かした研究を推進し、総合的な研究活動支援を通して教育レベルを向上

同志社大学では、先端的・学際的研究拠点を形成し、総合的に研究活動を支援するため、研究開発推進機構を設置しています。
研究開発推進機構は、

- ① 持続的な連携・共同研究に取り組む研究拠点形成を推進する「学際的研究拠点」
- ② 連携事業拠点として研究活動の多様性を担う研究拠点形成を推進する「中核的研究拠点」
- ③ 世界水準の教育研究拠点を形成し、特色ある先端研究を推進する「先端的教育研究拠点」
- ④ 研究成果の社会実装や事業化を推進し、人類共通の課題解決への提案や貢献を目的とする「教育研究プラットフォーム」
- ⑤ 寄付を受けて多様な教育研究活動を推進する「寄付教育研究プロジェクト」
- ⑥ 本学の研究力の強化を目的とする「研究推進部」
- ⑦ 社会との連携の窓口、並びに研究成果を社会に還元する「リエゾンオフィス・知的財産センター」

などの組織や先端的な研究共同利用施設・設備で構成され、研究成果の教育への還元や社会への貢献に取り組んでいます。

研究開発推進機構の全体像



※2023年4月1日現在

研究センターの概要

同志社大学では、文理融合や領域横断による創造的研究活動を推進し、学術研究の進展及び新しい研究分野の開拓に資することなどを目的として、研究センターを設置しています。各研究センターは、機能別に「学際的研究拠点」「中核的研究拠点」のいずれかの拠点として活動し、研究活動の戦略的活性化をさらに推進しています。また、本学の多くの専任教員が研究員として加わるだけでなく、外部資金の積極的な導入を図り、特定任用研究員、特別研究員などを迎え、より高度な研究拠点の構築を目指しています。

① 学際的研究拠点

国内外の研究機関や企業・自治体などとの持続的な連携活動や共同研究に取り組む研究拠点の形成を目指す研究センターで構成されます。

ライフリスク研究センター／技術・企業・国際競争力研究センター／高等教育・学生研究センター／先端複合材料研究センター／〈奄美－沖縄－琉球〉研究センター／超音波医学研究センター／高機能微粒子研究センター／京都と茶文化研究センター／先端バイオマテリアル研究センター／良心学研究センター／フェミニスト・ジェンダー・セクシュアリティ研究センター／南シナ海研究センター／Well-being研究センター／バイオマイクロfluidicサイエンス研究センター／次世代科学技術社会コミュニケーション研究センター／国際インフラシステム研究センター／中小企業マネジメント研究センター／人工知能工学研究センター／スポーツ傷害予防研究センター／スポーツマネジメント研究センター／ヒューマン・ディグニティ研究センター／メカノバイオロジー研究センター／古典教材開発研究センター／文化財保護研究センター／宮廷文化研究センター／AI×ヒューマニティ研究センター／ジャーナリズム・メディア・アーカイブス研究センター／社会価値研究センター／ダイバーシティ研究センター／細胞保護再生システム研究センター／病態解析研究センター／スポーツセンシング研究センター

② 中核的研究拠点

国際連携、社会連携、産学連携などの連携事業拠点として研究活動の多様性を担う研究拠点の形成を推進する研究センターで構成されます。

一神教学際研究センター／コリア研究センター／モビリティ研究センター／ナノ・バイオサイエンス研究センター／創造経済研究センター／実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター／先端パワートレイン研究センター／国際取引・国際法務研究センター／宇宙医学研究センター／文化遺産情報科学調査研究センター／超音波応用科学研究センター／スポーツ医学研究センター／ラテンアメリカ研究センター／神経変性疾患研究センター／言語生態科学研究センター／働き方と科学技術研究センター／STEM人材研究センター／自己組織化科学研究センター／行動神経科学研究センター／デジタル法制研究センター／インクルーシブ防災(i-BOSAI)研究センター／法と社会政策研究センター／ソーシャルマーケティング研究センター／若者と社会研究センター／地域紛争研究センター／都市共生研究センター／音響ナビゲーション研究センター／「間-帝国史」研究センター／社会調査研究センター／火災ガス中毒治療薬開発研究センター／サイエンスコミュニケーション研究センター

③ 先端的教育研究拠点

卓越した教育研究拠点またはこれに相当する先端的教育研究拠点形成事業の中核となる研究センターなどで構成されます。

エネルギー変換研究センター

人類が存続可能な地球環境の維持のため、環境調和型エネルギー変換に関わる基礎学問分野と応用技術の融合を目指し、先駆的かつ体系的な研究を行います。

宇宙生体医工学研究プロジェクト

宇宙生体医工学による「人間の健康」をテーマに、地球上の歩行困難者への新規運動療法やリハビリテーション、肥満症の予防などに貢献する研究を進めます。

同志社-ダイキン「次の環境」研究センター

ダイキン工業株式会社との連携協力により、環境課題をテーマにした実践的研究開発を推進し、「協創イノベーション人材」の育成にも取り組みます。

④ 教育研究プラットフォーム

教育研究プラットフォームは産官学連携を基軸とし、教育、研究、特に研究成果の社会実装や事業化を推進し、人類共通の課題解決への提案や貢献を目的として設置しています。

■カーボンサイクル教育研究プラットフォーム

持続可能な社会構築のための「カーボンサイクル」をテーマとした産官学の連携を基軸にして、教育、研究及び研究成果の社会実装を推進することを目的としており、カーボンニュートラルを実現するだけでなく、CO₂リサイクル社会として、これまで解決が困難とされていた諸問題を一気に解決する可能性を秘めた、まさに次世代を支える革新的な技術基盤の形成を目指しています。

⑤ 寄付教育研究プロジェクト

寄付教育研究プロジェクトは、個人、法人、企業やその他学外機関からの寄付を受けて、本学の教育研究活動を活性化し、多様化することを目的として設置するプロジェクトです。研究センターとともに独創的な研究拠点の形成を目指しています。また、個性豊かな授業科目や公開講座などの寄付講座も開設しています。

寄付教育研究プロジェクトの概要

■アンチエイジングリサーチセンター

加齢に伴う生体の退行性変化を科学的な手法(プロテオミクス、ゲノミクス解析)で捉え、その原因の1つとして注目される抗糖化に関わる研究の体系化を行います。

■糖化ストレス研究センター

糖化ストレスは還元糖やアルデヒド負荷による生体への負の影響で老化や疾患を進行させる因子の一つです。そのメカニズムの解明や制御は抗加齢医学の観点から重要です。本プロジェクトでは糖化ストレス測定方法の構築、抗糖化作用を有する食品や化粧品素材の探索、終末糖化産物(AGEs)の蓄積抑制に関する研究を行います。

■産学連携によるMBA教育機能強化プロジェクト

ビジネス研究科を開設部署とし先端技術産業分野でグローバルな事業展開を行っている株式会社SCREENホールディングスの協力を得て実施しているプロジェクトです。2020年度の開始以来、同社の実践的な事業経験を踏まえた授業を展開するとともに、2021年度には社会価値評価などの共同研究に着手、2022年度から正規科目としてインターンシップ科目を開設しています。

⑥ 研究推進部

研究推進部は、学外資金の獲得をはじめとする研究力強化のために、本学の学術研究活動の推進、研究戦略の検討・提言、若手研究者の養成を担います。研究推進部はリサーチ・アドミニストレーション機能を有し、本学や大学を取り巻く研究開発推進に関する現状の調査・分析・評価、研究戦略の検討・提言、及び学術研究活動の推進・支援に必要となる新たな制度、事業を提案し、本学の研究活動の充実と発展に寄与することを目的としています。

⑦ リエゾンオフィス・知的財産センター

リエゾンオフィスは、大学と産業界、国・自治体、地域社会とを結ぶ“窓口”となり、研究成果を基に広く社会と連携することを目的としています。全学的な組織として、学際的な産官学共同事業にも対応しながら、新しい産業やビジネスの創出を目指します。一方で、総合大学としての本学の機能をトータルコーディネートし、技術や研究に関するアドバイスや相談などのサービスを提供できる体制を整えています。

知的財産センターでは、教育・研究成果などの知的財産を創出する支援を行います。知的財産を保護し、増強するだけでなく、社会への還元と活用を通して社会に貢献することを目的としています。

学生や教職員の知的財産創出の支援、知的財産の権利化や維持・管理、知的財産のライセンス活動といった事業を通して、本学の知的財産を活用して社会に新しい活力をつくり出す重要な拠点として、今後も多彩な活動を展開します。

共同利用・共同研究拠点

赤ちゃん学研究センター

赤ちゃん学研究センターは発達科学や発達神経科学あるいは情報科学などをはじめとした多様な学問領域の融合による「赤ちゃん学」に基づいて、認知行動や社会性などの発達のメカニズムやプロセスを明らかにするという基礎研究と、その研究成果を育児や保育あるいは教育に携わる人に還元することを目的としています。また、2016年度からは文部科学省による「共同利用・共同研究拠点」事業において赤ちゃん学研究拠点として認定され、大学その他の研究機関などの研究者との共同利用・共同研究を推進しています。

学部・大学院教育研究組織

高等研究教育院



高等研究教育院は、大学院生の自律的なキャリア開発を推進し、本学の教育の一層の高度化を図ることを目的とする教育組織です。学問分野・領域に共通する基礎能力の涵養を目的とした大学院教育プログラムの開発・実施に取り組んでおり、研究科横断副専攻プログラム「Comm 5.0-AIデータサイエンス副専攻プログラム」の他、2021年度に開設した「アドバンス・リベラルアーツ科目群(ALA 科目群)」の下、ダイキン工業株式会社との連携に基づく「次の環境」協創コースや博士課程教育リーディングプログラムを継承するグローバル・リソース・マネジメント(GRM)コースを実施しています。

キリスト教文化センター



本学は、新島襄が志した教育理念の実現を目指しています。その教育理念とは、キリスト教を基本に、知識だけに偏ることなく、人間としてのあり方を考え、自由と愛と平等、個々の人格を重んじる精神です。本センターでは、「チャペル・アワー」「Doshisha Spirit Week」「メティテーション・アワー」「聖書に親しむプログラム」「熊本キャンパス/東京・安中キャンパス」「チャペル・コンサート」「オープン・プログラム」などのキリスト教主義を肌で感じることでできるプログラムを提供しています。

また『チャペル・アワー案内』や京田辺・今出川の各チャペル・アワーでの奨励、講演の記録である『チャペル・アワー奨励集』『Doshisha Spirit Week 講演集』、人権問題の教育のための『チャペル・アワー奨励：人権問題選集』を刊行し、新約聖書(新共同訳)の配布も行っています。

同志社社史資料センター



同志社社史資料センターは1963年に設置された同志社社史史料編集所を前身とし、2004年5月に発足しました。センターの目的は、創立者 新島襄や同志社諸学校に関係する史資料を収集、整理、保存、活用して、創立以来の歴史と伝統を後世に継承し、同志社の教育活動の充実と発展に寄与することです。この目的に従い、研究紀要(『同志社談叢』『新島研究』)の発行や研究会の開催、ハリス理化学館同志社ギャラリーでの展示活動(常設展示と企画展示)や公開講演会を通じて、同志社の歴史や建学の精神に関する有形無形の啓蒙活動を実施しています。また、『同志社百五十年史』の編集事業も行っています。

歴史資料館



1996年に設置された当館は、古代以来の遺跡上にある両校地の特性を活かした発掘調査成果と、文学部考古学研究室が全国的に調査・収集した膨大な考古資料を核に、その公開と収集・調査研究、さらに資料を活用した教育を行う博物館施設です。今出川校地の「室町殿(花の御所)」「近衛殿(桜御所)」「二條家屋敷」「相国寺旧境内」の発掘では、この場所が中近世における京都文化の中心域であったことを改めて確認できました。2022年度には、公家文化と『源氏物語』に関する企画展を行いました。

京田辺校地教務課とともに年6回開催する公開講座では、近畿一円を中心に多数の方が参加され、京田辺校地の顔ともなっています。

研究所／学部・大学院教育研究組織

人文科学研究所



人文科学研究所は、1944年「同志社大学研究所」として発足し1957年に今日の名称となりました。広く人文・社会科学の諸分野にわたって専門の学術的理論・応用に関する総合的研究を行い、学内外において文化の創造と発展に寄与することを目的としています。第1の活動は、学際的な共同研究の推進です。3年を1サイクルとする部門研究会を複数設置し、学内外の研究者による活発な研究活動が展開されています。その成果は『キリスト教社会問題研究』（年1回刊）、『社会科学』（年4回刊）の機関誌や研究叢書などの刊行物、公開講演会・公開講座の場で発表しています。第2の活動は、日本の近現代史関係の資料の収集・管理・公開です。特にキリスト教と日本の社会問題との関係資料や、京都を始めとする近現代日本の地域資料を多く所蔵しており、学内外に公開することで当該分野の研究に貢献しています。

ハリス理化学研究所



ハリス理化学研究所は、大学附置研究所として、同志社大学京田辺キャンパスに設置されています。同志社の科学教育と研究の歴史は、1890年（明治23年）、「ハリス理化学館」（国指定重要文化財）竣工と同時に開校された「ハリス理化学校」に始まり、京田辺キャンパスの6学部6研究科、そして「ハリス理化学研究所」に引き継がれています。京田辺キャンパスは、Creative Hill（創造の丘）の愛称でも親しまれており、自然科学系を中心とする未来志向で創造性に満ちた学部・研究科群を構成しています。「ハリス理化学研究所」は、6学部6研究科の学際領域を含め幅広く自然科学全般における教育と研究を通して、京田辺キャンパスの活性化及び同志社大学の発展に貢献しています。

アメリカ研究所



アメリカ研究所は、アメリカ研究の振興と日米相互理解の促進を目的として、1958年に設立されました。以来、日本のアメリカ研究をリードする拠点となり、学内外の研究者による学際的な研究が行われてきました。2023年には設立65周年を迎え、さらに日本と世界のアメリカ研究に寄与する決意を新たに、現在に至っています。本研究所は、約10万冊を超える蔵書、マイクロフィルムなどの一級の研究資料を備え、学内外に広く公開しています。本研究所の特色を活かした7部門の共同研究も行われており、それらの成果は、定期刊行誌『同志社アメリカ研究』、単行本、学術雑誌などで発表されています。また研究所では、国内や海外の優れた研究者による公開講演会やコロキアムも適宜開催しています。

研究生活を支える諸制度

セメスター制度

本学では、セメスター制度を実施しています。同制度では1年を2期に分け、前半を「春学期」、後半を「秋学期」とします。例えば、博士課程（前期課程）は2年間4学期でカリキュラムが編成されており、1学期単位で授業（週1回または2回開講）が完結するため履修計画が立てやすく、留学を希望する方や社会人などの方にとっても、時間を有効的に活用しやすい環境となっています。

関西四大学大学院単位互換制度

本学は、関西大学、関西学院大学、立命館大学の3校と単位互換制度を実施しています。「より研究を深めたい」「幅広い科目を履修したい」という大学院生は、所定の手続きを経て、上記3校の大学院授業科目を履修できます。履修した科目は修了に必要な単位として、10単位を上限として認定される場合があります。

長期履修学生制度

職業を有しているなどの事情により、標準修業年限での大学院の教育課程履修が困難な者に限り、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する制度です（研究科により、制度の有無や詳細が異なります）。

研修生制度

本大学院の修士の学位を得た後、さらに高度専門職などに必要な能力を身に付けたいと希望し、許可されれば、研修生として修学を認める制度を設けています。

研究生制度

本大学院博士課程（後期課程）に6年間に在学した者または一貫制博士課程に8年間に在学した者が、さらに研究を専門的に行うため研究指導を受けたいと希望し、許可されれば、研究生として研究指導を受けることができる制度を設けています。

ティーチング・アシスタント制度

本学では、ティーチング・アシスタント（以下TA）制度が1996年度から施行されました。TA制度は、成績優秀な大学院生に教育経験を積む機会を提供することによって、教員・研究者・専門職業人などとしての自立を奨励することを目的とし、演習・実験・実習その他の授業の教育補助、学生に対する学習上の指導及び相談、その他必要な教育の補助業務に従事します。

TA(D)は、主に学部及び大学院博士課程（前期課程）または専門職学位課程の教育に関する補助業務に、TA(M)は、学部の教育に関する補助業務に従事します。

同志社大学大学院博士後期課程 若手研究者育成フェローシップ制度

文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」の支援を受け、博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパス確保のための取り組みを一体として実施し、次世代を担う優れた若手研究者を育成することを目的とするものです。

本学は、このフェローシップ制度を通して、本学博士課程に在学する大学院生に研究専念支援金及び研究費（フェローシップ）を支給し、研究活動に専念して研究力の向上を図ることができる環境を整備します。

なお、フェローシップ支給対象学生には、研究力の向上に邁進いただくとともに、本学が提供するキャリアパスの確保に向けた各種プログラムを計画的に受講し、自立的なキャリア形成が求められます。

同志社大学大学院博士後期課程 次世代研究者挑戦的研究プロジェクト

国立研究開発法人科学技術振興機構の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」として実施される本プロジェクトを通じて、自由で挑戦的・融合的な研究に意欲的に取り組む大学院博士課程学生に対し、研究活動に専念して研究力の向上を図ることができる環境を整備するとともに、キャリア形成支援のため、キャリアパスの確保に向けた各種プログラムを一体的に実施します。

本プロジェクトは、研究科や研究室など既存の枠組みを越えて、社会課題への挑戦、新たな領域の開拓、世界に股をかける実践を目指そうとする、これからの時代を切り拓きたいと強く希望する博士後期課程学生（社会人学生含む）を選考の上、支援します。

なお、本プロジェクトの支援対象学生は、研究力の向上に邁進するとともに、本学が提供するキャリアパスの確保に向けた各種プログラムを計画的に受講、実践し、自立的なキャリア形成に取り組むことを求められます。

学位の授与 Degree Conferment

本大学院において、各研究科の課程修了の認定を得た者には、次の学位を授与します。

※2023年度入学生の場合

修士

神学、一神教研究、哲学、英文学、英語学、文化史学、国文学、美学、芸術学、社会福祉学、メディア学、教育文化学、社会学、産業関係学、政治学、比較政治学、法学、経済学、商学、政策科学、ソーシャル・イノベーション、文化情報学、工学、理学、スポーツ健康科学、心理学、アメリカ研究、現代アジア研究、グローバル社会研究、経営学、学術

博士

神学、一神教研究、哲学、英文学、英語学、文化史学、国文学、芸術学、社会福祉学、メディア学、教育文化学、社会学、産業関係学、政治学、法学、経済学、商学、政策科学、ソーシャル・イノベーション、文化情報学、工学、理学、スポーツ健康科学、心理学、アメリカ研究、現代アジア研究、グローバル社会研究、学術

専門職

法務博士、ビジネス修士

※2024年度までに変更されることがあります。

教育職員免許状 Educational Personnel License

本大学院では、関係科目の単位を修得することにより、下記の教育職員免許状を取得することができます。

なお、教職課程の詳細は免許資格課程センターHP(右記2次元コード)をご覧ください。



研究科	専攻	種類(免許教科)	
		中学校専修免許状	高等学校専修免許状
神学研究科	神学専攻	宗教	宗教
文学研究科	哲学専攻	社会	地理歴史/公民
	英文学・英語学専攻	英語	英語
	文化史学専攻	社会	地理歴史
	国文学専攻	国語	国語
	美学芸術学専攻	社会	地理歴史/公民
社会学研究科	社会福祉学専攻	—	福祉
	メディア学専攻	社会	公民
	教育文化学専攻	社会	公民
	社会学専攻	社会	公民
	産業関係学専攻	社会	公民
法学研究科	政治学専攻	社会	地理歴史/公民
	私法学専攻	社会	公民
	公法学専攻	社会	公民
経済学研究科	理論経済学専攻	社会	地理歴史/公民
	応用経済学専攻	社会	公民
商学研究科	商学専攻	社会	公民/商業
総合政策科学研究科	総合政策科学専攻	社会	公民
文化情報学研究科	文化情報学専攻	数学	数学
	情報工学専攻	数学	数学
	電気電子工学専攻	—	—
理工学研究科	機械工学専攻	—	—
	応用化学専攻	理科	理科
	数理環境科学専攻	数学/理科	数学/理科
	医工学・医情報学専攻	理科	理科
生命医科学研究科	医生命システム専攻	理科	理科
	スポーツ健康科学専攻	保健体育	保健体育
心理学研究科	心理学専攻	社会	地理歴史/公民
グローバル・スタディーズ研究科	グローバル・スタディーズ専攻	社会	公民

・中学校教諭と高等学校教諭とは、免許状を相互に利用することはできません。
 ・専修免許状を取得するためには、当該教科の一種免許状を取得済み、または一種免許状取得に必要な単位を修得し、併せて専修免許状取得に必要な科目を24単位以上履修済みであることが必要です。
 また、大学院博士課程(前期課程)あるいは修士課程を修了すること、または1年以上在学し、30単位以上修得することが必要です。

・必要に応じて、別途課程登録料など、教職課程の履修に必要な費用を徴収します。
 ・ビジネス研究科 グローバル経営研究専攻、脳科学研究科には教職課程は設置されていません。
 ・2024年度までに変更されることがあります。

一人ひとりの希望に合った、きめ細かいキャリアサポート

計画的で、きめ細かな支援による高い就職率

同志社大学では、満足度の高い就職を目指して、計画的できめ細かな支援を実施し、学生は元より企業などからも高い評価を得ています。

■ 実践的プログラムの提供

学生は就職活動を展開していくにつれて、業界研究、企業研究、キャリアパス、「求められる人材像」などの実践的知識が必要となります。本学ではそのためのセミナー、ワークショップを実業界の動きに合わせて計画的に提供しています。

■ きめ細かな個別相談の実施

学生の職業選択においては学生の自立した判断を尊重しつつ、一人ひとりの状況を考慮しながら、適切な就職情報を伝え、より満足度の高い進路選択ができるように個別相談も実施しています。企業などでの経験豊富なキャリアアドバイザーを配置し、学生の相談に応えています。

スペシャリストと資質の高いゼネラリストのニーズの高まりに応じて

近年、各企業ではより付加価値の高い企業体質づくりを進めており、より高度な専門知識を持ったスペシャリストと、高い資質を持ったゼネラリストの確保・育成に力を入れています。技術系だけでなく、文科系でもこの動きは加速しています。自由な校風の中で自立した精神を大切にす本学の方針と本学卒業生の活躍に対しては、各企業から高い評価をいただいており、本学の大学院生にはますます大きい期待が寄せられています。

本学の就職状況には高い実績がありますが、これは学問分野と進路を狭く限定したり、企業の規模や知名度だけにとらわれずに、学生自身の関心や価値観を大切にす進路選択を支援してきた結果です。そして何より大学院修了生の各界での活躍と評価が産業界に広く定着したことが、毎年の高い就職率につながっています。

研究職や専門職、民間企業、政府機関、自治体など、多彩な進路状況

神学研究科

キリスト教会の牧師、神学や宗教学の研究者をはじめ、民間企業、教育機関、自治体など、様々な分野で活躍しています。

日本基督教団、在日大韓基督教教会、楽天グループ、富士通 Japan、日立産業制御ソリューションズ、日新、日立建機、アシックス、SMBC日興証券、IKホールディングス、ウエルシア薬局、さとう、ライフワークス社、島村楽器、スタジオ三十三、ラビース、平安女学院、横須賀学院中学高等学校、医療法人清水会、読売新聞大阪本社

文学研究科

研究者を目指し研究活動を継続する人が多いのが特徴です。その一方で、各専攻の専門知識を活かせる企業、教育機関及び自治体など様々な分野に就職しています。

教員(京都府、大阪府、兵庫県他)、国家公務員(一般職)、地方公務員(大阪市、兵庫県、木津川市他)、京都大学、慶應義塾、同志社女子中学校・高等学校、梅花学園梅花中学校・高等学校、花園学園花園中学高等学校、大阪市博物館機構、滋賀県文化財保護協会、札幌市芸術文化財団、三菱UFJリサーチ&コンサルティング、大垣共立銀行、晃洋書房、数研出版、大修館書店、吉川弘文館、楽天グループ、コム・デ・ギャルソン、文化放送、神戸新聞社、島津製作所、マツダ、住電商事、青山特許事務所

社会学研究科

専門性を活かした研究者への道だけではなく、民間企業や教育機関、自治体、NPOなど、修了生は多彩な分野へ就職しています。

日立産機システム、京都市社会福祉協議会、堺市社会福祉協議会、大阪市障害者福祉スポーツ協会、ワークスアプリケーションズ、熊本日日新聞社、藤田学園、東洋大学、河合塾、コーセー、アクセントチュア、肥後銀行、京都銀行、高島屋、大丸松坂屋百貨店、日本アイ・ピー・エムデジタルサービス、島津製作所、ファーストリテイリング、出光興産、堀場アドバンステクノ、京セラコミュニケーションシステム、常翔学園、京都市、西宮市、尼崎市、京都市職員

法学研究科

専攻によって進路は多少異なっていますが、いずれの場合も専門知識を活かし、その分野の第一線で活躍しています。

大学教員、国家公務員、地方公務員、裁判所職員、パナソニック、日立製作所、ソニー、富士通、トヨタ自動車、本田技研工業、三井住友銀行、ゆうちょ銀行、日本生命保険、損害保険ジャパン、三井物産、三菱重工業、住友化学、JFEスチール、関西電力、NTTドコモ、楽天グループ、日本航空、全日本空輸、味の素、日清食品、キリンホールディングス、任天堂、京セラ、オムロン、村田製作所、ローム、ダイキン工業、オンキヨー、第一三共、日本新薬、日本放送協会

経済学研究科

研究者を目指して、本学もしくは他大学の博士課程(後期課程)へ進学する以外に、民間企業、政府機関、自治体など様々な分野で活躍しています。

アビームコンサルティング、アクティシステム、イオンフィナンシャルサービス、AGSグループ、オージス総研、三和シャッター工業、セイコーエプソン、双日、豊田通商、アロイト トーマツ コンサルティング、トヨタ紡織、ニトリ、日本アイ・ピー・エム、日本アイ・ピー・エムデジタルサービス、富士通ネットワークソリューションズ、船井総合研究所、毎日新聞、みずほリサーチ&テクノロジーズ、ゆうちょ銀行、楽天グループ、両備ホールディングス、国家公務員(総合職)

商学研究科

大学教員や研究者として赴任、専門性を活かして企業へ就職、公認会計士、税理士として活躍など多様な進路を選択できます。

あずさ監査法人、監査法人トーマツ、辻・本郷税理士法人、アイネックス税理士法人、成迫会計事務所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、富士経済、日本生命保険、三井住友海上火災保険、三菱UFJ銀行、野村證券、京都銀行、シャープ、ソフトバンク、電通、マツダ、ニデック、堀場製作所、阪急阪神百貨店、富士通ゼネラル、花王グループカスタマーマーケティング、ベネフィット・ワン、船井総合研究所、伊藤園、島津製作所

総合政策科学研究科

修了生は時代が求める専門性を身に付けた人材として各方面で活躍しています。またキャリアアップを目指す人が多いのも特徴です。

大学教員、大学職員、地方自治体(京都府、愛知県、滋賀県、京都市、高槻市、他)、国家公務員(一般職)/衆議院事務局他、国際協力機構、日本年金機構、経済同友会、大阪商工会議所、京都市リサーチパーク、毎日放送、中日新聞社、読売新聞大阪本社、トヨタ自動車、武田薬品工業、ニッセイ情報テクノロジー、JTB、みずほフィナンシャルグループ、SMBC日興証券、北國銀行、パソナ、フジクラ、日本たばこ産業、イトーキ、NTTデータ・アイ、箕面自由学園

文化情報科学研究科

広い視野と柔軟な発想を持ち、データ分析の高い能力を活かしながら、行政機関、民間企業などの第一線で活躍しています。

アクセントチュア、日本アイ・ピー・エム、富士通、大和ハウス工業、日経リサーチ、ニトリ、ビデオリサーチ、マクロミル、チームラボ、サイバーエージェント、ソフトバンク、田辺三菱製薬、アサヒビール、西日本旅客鉄道、エヌ・ティ・ティ・データ、丸紅、日立製作所、同志社大学、ヤフー、大阪府警察(警察官・警察事務等)、教員(京都府、愛知県、埼玉県)、地方公務員(木津川市、箱根町)

キャリアセンターWebサイト

キャリアセンターの利用方法や学内イベント情報、セミナーのオンデマンド配信動画、統計資料、学年別・対象者別の支援案内など、就職活動に必要な情報を掲載しています。

また、キャリア支援システム「e-career」では、採用実績や先輩の就職活動体験記、OB・OG訪問の情報など、本学キャリアセンター独自の情報を提供しているほか、個別相談の予約や学内イベントの申し込みなどが可能で、就職活動の貴重なツールとなっています。

キャリアセンター宛に届いた求人情報やインターンシップ情報は、「求人・インターンシップ情報検索サイト」に掲載しており、本学学生限定の情報も掲載しています。自宅や外出先からもアクセスでき、学生への情報をリアルタイムに公開しています。

理工学研究科

優れた教育・研究環境の下で研究を行い、深い学識と高度な専門技術を身に付けた修了生は、多くの有名企業に就職しています。

パナソニック、ダイキン工業、三菱電機、村田製作所、トヨタ自動車、日立製作所、豊田自動織機、川崎重工業、デンソー、日産自動車、エヌ・ティ・ティ・データ、関西電力、本田技研工業、野村総合研究所、積水化学工業、京セラ、小松製作所、日本電気、富士通、クボタ、中部電力、三菱ケミカル、ヤフー、三菱自動車工業、NTTドコモ、アマゾン ウェブ サービス ジャパン、日本マイクロソフト

生命医科学研究科

工学と医学の融合分野における先端科学領域で活躍できるエンジニアや研究者を育成します。

〈医工学コース〉トヨタ自動車、パナソニック、日立製作所、川崎重工業、京セラ、旭化成、ダイキン工業、LIXIL、関西電力、清水建設 〈医情報学コース〉NTTデータ、オリンパス、野村総合研究所、トヨタ自動車、キヤノンメディカルシステムズ、日本IBM、島津製作所、パナソニック、ダイキン工業、ソニー 〈医生命システム専攻〉武田薬品工業、塩野義製薬、住友ファーマ、小林製薬、島津製作所、タカラバイオ、ロッテ、コーセー、花王、森永乳業

スポーツ健康科学研究科

スポーツ健康科学の知見に通じた高度専門職業人や卓越した研究者の養成を視野に入れています。修了後の進路として、博士課程(後期課程)への進学、保健体育教員、医療・健康関連企業、自治体などの生涯スポーツ指導者などが考えられます。

滋賀県、博報堂DYメディアパートナーズ、美津濃、アシックス、ゴールドウイン、モンベル、アルペン、タニタ、テルモ、オタフクソース、日本シグマックス、京都大学、立命館、ジョンソン・エンド・ジョンソン、大塚製薬、丸善薬品産業、岩谷産業、太陽石油、第一生命保険、クレディセゾン、ノアインドアステージ、計測技研、大和ハウス工業、シャンソン化粧品、富士フィルムヘルスケアシステムズ

心理学研究科

研究者を目指し、博士課程(後期課程)へ進学する他、医療・教育・行政など心理臨床関連の専門職をはじめ、幅広い職種での活躍が期待できます。

メタックス、エド・インター、ミネルヴァ書房、ポート、水口病院、瀬田川病院、稲荷山武田病院、明萌会、青空精神科・心療内科、相和福祉会、チルドレン・センター、LITALICO、浜学園、滋賀県教員、滋賀県、奈良県、福井県、岡山県

就職支援の2つの拠点

—東京サテライト・キャンパス、大阪サテライト・キャンパス—

関西企業に偏ることなく、東京本社の企業への就職も目立つ本学ですが、それを支えているのがキャリアセンターの2つの拠点「東京サテライト・キャンパス」と「大阪サテライト・キャンパス」です。東京サテライト・キャンパスでは、各種証明書・学割の発行、パソコンや更衣室の利用、就職情報誌の閲覧、就職活動中の休憩など、首都圏での就職活動のサポートを行っています。大阪サテライト・キャンパスでは、就職相談(3月中旬～6月上旬のみ)、各種証明書・学割の発行、パソコンの利用、就職情報誌の閲覧、就職活動中の休憩のために利用できます。

※下記は、過去10年間の主な就職先です(順不同)。

グローバル・スタディーズ研究科

国際機関、国際ビジネスに携わる企業、マスコミ、研究機関や国際協力機関などで活躍できる研究者、高度職業人を養成します。

三菱電機、堀場製作所、三菱自動車工業、アクセンチュア、ワークスアプリケーションズ、ニトリ、YKK、日本たばこ産業、楽天グループ、第一法規、大塚製薬、SGホールディングス、関電工、石川県教員、ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー L.L.C.、高島屋、日本通運、大阪YMCA、大阪大学、亀田製菓、四条烏丸法務事務所、スイスホテル南海大阪、ニッセイ、広島マツダ、星野リゾートグループ、ワタベウェディング

脳科学研究科

国際的に高く評価される実力を備えた研究者、及び世界に通用する高度な技術と広い視野を身に付けた専門技術者を養成します。

国際電気通信基礎技術研究所、京都府立医科大学、同志社大学、ISTAustria、WDBエウレカ社、環境衛生薬品、遺伝学研究所、化学分析コンサルタント、富士レリオ、アークレイ、理化学研究所、塩野義製薬、立命館大学、名古屋大学、沖縄科学技術大学院大学、京都大学、Massachusetts Institute of Technology (MIT)、University of Texas Southwestern Medical Center

司法研究科(法科大学院)

2023年3月に令和3年司法試験の合格者が司法修習を終え、法曹として第一歩を歩み始めました。2022年の令和4年司法試験に25名が合格し、現在修習中です。

ビジネス研究科(ビジネススクール)

ビジネス研究科では、特別にキャリアアドバイザーを置き、学生のキャリア支援をしています。

社会人学生が中心のビジネス専攻の修了生は、現勤務先でキャリアアップをした人が多く、また新たに起業した人もいます。

世界各地からの留学生の集うグローバル経営研究専攻では、就職先は日本国内のみならず世界中に及んでおり、修了生のグローバルなネットワークが形成されています。日本において、未就業の学生は、以下のような企業に就職しています。

アクセンチュア、AGC、日本放送協会、中外製薬、船井総合研究所、三菱HCキャピタル、日本アイ・ピー・エム、カネカ、京セラ、三菱自動車工業、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三井物産、ニコン、エヌ・ティ・ティ・データ、オムロン、大阪商工会議所、パナソニック、パソナ、島津製作所、島精機製作所、資生堂、東洋エンジニアリング、ヤフー、ヤマハ発動機、JWマリオット・ホテル奈良、ダイムラー・トラック・アジア、ヘイズ・スペシャリスト・リクルートメント・ジャパン

※企業・団体名は2023年4月1日現在の名称を記載しています。

大学院奨学金制度一覧表

名称	種類	金額	対象		採用者数*1 [出願者数]	願書 入手時期	出願 期間	採否 決定	備考	
			家計基準	成績基準						
同志社大学 大学院奨学金	給付	年額 神学研究科、文学研究科、社会学研究科、法学研究科、経済学研究科、 商学研究科、総合政策科学研究科、グローバル・スタディーズ研究科、 ビジネス研究科グローバル経営研究専攻 310,000円 文化情報学研究科、スポーツ健康科学研究科 330,000円 理工学研究科、生命医科学研究科 430,000円 心理学研究科 350,000円 脳科学研究科 430,000円 *3	専ら専攻学位課程は対象外	本人の収入金額 給与収入： 841万円以下 営業所得： 355万円以下	成績良好で あること	(前期課程) 340[758] (後期課程) 15[17]	3月 下旬~ *2	4月 月上旬 *2	6月 月中旬 *2	給付期間：1カ年(毎年出願可)
同志社大学大学院 特別奨学金	給付	年額 表に定める額に120,000円を加えたもの 神学研究科、文学研究科、社会学研究科、法学 研究科、経済学研究科、商学研究科、総合政策 科学研究科、グローバル・スタディーズ研究科、 ビジネス研究科グローバル経営研究専攻 入学年度ごとの 各年次に応じた 授業料相当額 文化情報学研究科、 スポーツ健康科学研究科 入学年度 560,000円 2年目以降 760,000円 理工学研究科、 生命医科学研究科 入学年度 740,000円 2年目以降 940,000円 心理学研究科 入学年度 590,000円 2年目以降 790,000円 *4	前期課程及び一貫制博士課程 の在学2年以内の者のうち、研究 科長に推薦された学力、人物と ともに特に優秀かつ研究者として 適格な者(脳科学研究科、ビジ ネス研究科(専門職学位課程) は対象外)	28	公募はしない			6月 月中旬 *2	給付期間：1カ年	
同志社大学大学院 博士後期課程若手 研究者育成奨学金	給付	年間学費(入学金(入学時のみ)、授業料、 教育充実費及び特別在籍料(適用学期のみ)) 相当額 *5	後期課程に在学している入学時 34歳未満の者及び一貫制博士 課程に2年以上在学している入 学時32歳未満の者のうち、各研 究科に推薦された学修意欲のあ る者(脳科学研究科は対象外)	197	公募はしない			入試合格 と同時	給付期間：1カ年 ただし、所定の継続審査により、標準 修業年限を上限に継続することが ある。採用者数には継続者を含む	
同志社大学大学院 脳科学研究科 特別奨学金	給付	年間学費(入学金(入学時のみ)、授業料、 教育充実費及び特別在籍料(適用学期のみ)) 相当額 *5	入学時32歳未満(転入学時34 歳未満)で、脳科学研究科に推 薦された学修意欲のある者	24	公募はしない			入試合格 と同時	給付期間：1カ年 ただし、所定の継続審査により、標準 修業年限を上限に継続することが ある。採用者数には継続者を含む	
同志社大学 寄付奨学金	給付	年額100,000円	研究科長に推薦された 学力・人物ともに優秀な者	4	公募はしない			5月下旬	給付期間：1カ年	
同志社大学 短期貸付金	貸与 (無利子)	(1)一般貸付 30,000円以内 (2)特別貸付 100,000円以内	やむを得ない事情で、 一時的に生活費支弁が困難になった者	(1)0 (2)0		緊急の場合に随時 (事務室開室時間)			一般貸付の返還は3カ月以内、特 別貸付は10カ月以内に月賦返還	
日本学生支援機構 大学院 第一種奨学金	貸与 (無利子)	月額 下記金額から選択制 前期課程 50,000円 88,000円 後期課程 80,000円 122,000円	本人及び配偶者の 収入金額の合 計額 前期課程： 299万円以下 後期課程： 340万円以下	成績が特に 優れ、学術研 究者として適 格と認められ る者	(前期) 217 [217] (後期) 16[16] (専門) 20[20]	3月 下旬~ 9月 月上旬	4月 月上旬/ 12月 月中旬	7月 月上旬/ 12月 月上旬	貸与期間：標準修業年限まで ・外国人留学生は出願不可 ・新生には、初回振込時、10・20・30・40・ 50万円から選択して増額可能な制度あり ・第一種奨学金には「特に優れた業績による 返還免除」制度(「採用時返還免除内定」 制度含む)あり ・第二種奨学金の利率の上限は3% ・第二種奨学金において、司法研究科生が最 高金額を選択した場合は40,000円又は 70,000円の増額が可能 ・返還は借用総額により異なるが修了後10 ~20年以内 ・一貫制博士課程の1・2年次生は前期課程 に、3~5年次生は後期課程に準ずる	
日本学生支援機構 大学院 第二種奨学金	貸与 (有利子)	月額 下記金額から選択制 50,000円 80,000円 100,000円 130,000円 150,000円	本人及び配偶者の 収入金額の合 計額 前期課程： 536万円以下 後期課程： 718万円以下	成績が平均 水準以上で、 特定分野に おいて特に 優れた資質 能力があると 認められる者	(前期) 12[62] (後期) 2[4] (専門) 8[10]	3月 下旬~ 9月 月上旬	4月 月上旬/ 12月 月中旬	7月 月上旬/ 12月 月上旬	貸与の場合には各奨学団体により異 なるが修了後10~15年以内に返還	
民間・地方公共団体 奨学金	給付 または貸与	各奨学団体により異なる	各奨学団体により異なる (大学推薦団体は成績優秀者)	21		3月下旬より随時受付			貸与の場合は各奨学団体により異 なるが修了後10~15年以内に返還	

(*1)採用者数[出願者数]は2022年度実績 採用人数に限度があるため、上記基準内であっても採用されない場合があります。

(*2)ビジネス研究科 秋入学生については別日程

(*3)2022年度以前に入学した学生の給付額は、授業料相当額の2分の1とします。

(*4)2022年度以前に入学した学生の給付額は、授業料相当額に120,000円を加えたものとします。

(*5)2022年度以前に入学した学生の給付額は、年間学費(授業料、教育充実費及び実験実習料、特別在籍料(適用学期のみ))相当額とします。

●修士課程は、前期課程に準じます。

●司法研究科対象(下記の奨学金以外に、他研究科と同じく日本学生支援機構大学院奨学金、同志社大学短期貸付金の利用が可能です。)

名称	種類	金額*1	対象		採用者数*2	願書 入手時期	出願 期間	採否 決定	備考
			家計基準	成績基準					
同志社大学大学院 司法研究科奨学金	給付	(1)第1種奨学金(2年間継続型) 年間の単位授業料相当額 (2)第2種奨学金(単年度給付型)年 間の単位授業料相当額 (3)第3種奨学金(単年度給付型)年 間の単位授業料相当額の1/2	—	勉学意欲旺盛で 学業人物ともに 優秀な者	1年次生 (1)92(2)23(3)4 2年次生 (1)12(2)6(3)0 3年次生 (1)0(2)3(3)0	公募はしない		1年次生： 入試合格 と同時 2年次生： 3月	選考： 1年次生 入学試験の成績による。 秋に補充採用することがある 2年次生以上 学業成績優秀者の中から選考
司法研究科 修学支援奨学金	給付	年間の登録単位数に 8,000円を乗じた額	司法研究科正規学生で司法研究科の 推薦のあるもの (司法研究科奨学金と併給はできない。)		1年次生：19 2年次生：27 3年次生：20	公募はしない		1年次生： 入試合格と同時 2年次生以上： 3月	
同志社大学大学院 司法研究科 貸与奨学金	貸与 (無利子)	一学期の金額 (1)1学期の単位授業料 相当額 (2)1学期の単位授業料 相当額の1/2	学資支弁に 支障のある者	1年次生： 入試合格をもって 基準を満たす 2年次生以上： 司法研究科の 推薦による	(入学前) (1)1(2)0 (春学期) (1)0(2)0 (秋学期) (1)1(2)0	1年次生： 春合格 通知に封入 秋7月上旬 2年次生以上： 春1月上旬 秋7月上旬	1年次生： 春前日程 10月上旬 後期日程 2月中旬 秋9月中旬 2年次生以上： 春3月下旬 秋9月中旬	1年次生： 春前日程 11月下旬後期 日程 3月上旬 秋10月上旬 2年次生以上： 春4月中旬 秋10月上旬	貸与期間：1学期(学期毎に出願可) ・最短修業年限まで出願可 ・外国人留学生は出願不可 ・連帯保証人が2名必要 ・返還は原則として修了時から貸与回 数×3年以内。ただし、15年を超え ないものとする。願書入手時期：出 願期間・採否決定は予定(変更の場 合あり)
同志社大学大学院 司法研究科 特別支給奨学金	給付	年間100,000円	—	同志社大学を卒業、同志社 大学在学3年で飛び入学又 は同志社大学大学院を修了 し、司法研究科に入学した者	38	公募はしない		5月中旬	有資格者全員を採用する 入学初年度に、各学期5万円を 給付する

(*1)単位授業料は、登録単位数に応じて徴収するもの

(*2)採用者数[出願者数]は2022年度実績 採用人数に限度があるため、上記基準内であっても採用されない場合があります。

大学院 博士課程(前期課程)または修士課程2024年度入学生 学生納付金

■ 第1年次

(単位:円)

研究科	第1年次合計	入学手続時 納入必要額	学費(年額)			諸会費	
			入学金	授業料	教育充実費	学生会費*	
神学研究科	835,000	517,500	200,000	515,000	117,000	3,000	
文学研究科	英文学・英語学専攻	837,000	518,500	200,000	515,000	117,000	5,000
	哲学、文化史学、 美学芸術学専攻	836,000	518,000	200,000	515,000	117,000	4,000
	国文学専攻	838,000	519,000	200,000	515,000	117,000	※6,000
社会学研究科	837,000	518,500	200,000	515,000	117,000	5,000	
法学研究科	840,000	520,000	200,000	515,000	117,000	8,000	
経済学研究科	836,500	518,250	200,000	515,000	117,000	4,500	
商学研究科	837,000	518,500	200,000	515,000	117,000	5,000	
総合政策科学研究科	839,000	519,500	200,000	515,000	117,000	7,000	
文化情報学研究科	927,000	563,500	200,000	599,000	126,000	2,000	
理工学研究科	1,212,000	706,000	200,000	854,000	156,000	2,000	
生命医科学研究科	1,212,000	706,000	200,000	854,000	156,000	2,000	
スポーツ健康科学研究科	955,000	577,500	200,000	626,000	126,000	3,000	
心理学研究科	984,000	592,000	200,000	649,000	132,000	3,000	
グローバル・スタディーズ研究科	837,000	518,500	200,000	515,000	117,000	5,000	
ビジネス研究科グローバル経営研究専攻	832,000	516,000	200,000	515,000	117,000	—	

■ 第2年次

(単位:円)

研究科	授業料	教育充実費
神学、文学、社会学、法学、経済学、 商学、総合政策科学、グローバル・スタディーズ研究科、 ビジネス研究科グローバル経営研究専攻	715,000	117,000
文化情報学研究科	799,000	126,000
理工学、生命医科学研究科	1,054,000	156,000
スポーツ健康科学研究科	826,000	126,000
心理学研究科	849,000	132,000

- 入学金は初年度のみ徴収します。学内出身者(本学卒業生・本学大学院修了生)の入学金は2分の1です。
- 授業料・教育充実費については、各々2分の1が春学期学費及び秋学期学費です。
- 入学手続時納入必要額とは、入学金全額と、春学期学費及び諸会費の2分の1です。
 ※文学研究科国文学専攻の学生会費は、文化学生会費(4,000円)と国文学学生会費(2,000円)を徴収します。
 *学会について
 各学会は、機関誌の発行などを通じ、本学の教育研究活動に寄与することを目的に設置されています。
- 長期履修学生については、本記載内容とは異なります。詳しくはホームページをご参照ください。
 (https://www.doshisha.ac.jp/admissions_graduate/payment/long_course.html)

注) 諸会費として、学生会費(第1年次と同額)を毎年徴収します。また、法学研究科生(除く、学内進学者)及び総合政策科学研究科生については、第2年次に当該研究科の卒業生団体会費を徴収します。

大学院 博士課程(後期課程)2024年度入学生 学生納付金

■ 第1年次

(単位:円)

研究科	第1年次合計	入学手続時 納入必要額	学費(年額)			諸会費	
			入学金	授業料	教育充実費	学生会費*	
神学研究科	810,000	505,000	200,000	484,000	123,000	3,000	
文学研究科	英文学・英語学専攻	812,000	506,000	200,000	484,000	123,000	5,000
	哲学、文化史学、美学芸術学専攻	811,000	505,500	200,000	484,000	123,000	4,000
	国文学専攻	813,000	506,500	200,000	484,000	123,000	※6,000
社会学研究科	812,000	506,000	200,000	484,000	123,000	5,000	
法学研究科	815,000	507,500	200,000	484,000	123,000	8,000	
経済学研究科	811,500	505,750	200,000	484,000	123,000	4,500	
商学研究科	812,000	506,000	200,000	484,000	123,000	5,000	
総合政策科学研究科	814,000	507,000	200,000	484,000	123,000	7,000	
文化情報学研究科	905,000	552,500	200,000	570,000	133,000	2,000	
理工学研究科	1,189,000	694,500	200,000	825,000	162,000	2,000	
生命医科学研究科	1,189,000	694,500	200,000	825,000	162,000	2,000	
スポーツ健康科学研究科	931,000	565,500	200,000	595,000	133,000	3,000	
心理学研究科	954,000	577,000	200,000	613,000	138,000	3,000	
グローバル・スタディーズ研究科	812,000	506,000	200,000	484,000	123,000	5,000	

■ 第2年次・第3年次

(単位:円)

研究科	年次	授業料	教育充実費
神学、文学、社会学、法学、経済学、商学、 総合政策科学、グローバル・スタディーズ研究科	第2・3年次	684,000	123,000
文化情報学研究科	第2・3年次	770,000	133,000
理工学、生命医科学研究科	第2・3年次	1,025,000	162,000
スポーツ健康科学研究科	第2・3年次	795,000	133,000
心理学研究科	第2・3年次	813,000	138,000

- 入学金は初年度のみ徴収します。学内出身者(本学大学院修了生)の入学金については不要です。
- 授業料・教育充実費については、各々2分の1が春学期学費及び秋学期学費です。
- 入学手続時納入必要額とは、入学金全額と、春学期学費及び諸会費の2分の1です。
 ※文学研究科国文学専攻の学生会費は、文化学生会費(4,000円)と国文学学生会費(2,000円)を徴収します。
 *学会について
 各学会は、機関誌の発行などを通じ、本学の教育研究活動に寄与することを目的に設置されています。
- 長期履修学生については、本記載内容とは異なります。詳しくはホームページをご参照ください。
 (https://www.doshisha.ac.jp/admissions_graduate/payment/long_course.html)

注) 諸会費として、学生会費(第1年次と同額)を毎年徴収します。また、法学研究科生(除く、学内進学者)については、第3年次に卒業生団体会費を徴収します。

大学院 博士課程(一貫制) 2024年度入学生 学生納付金

■ 第1年次

(単位:円)

研究科	第1年次合計	入学手続時 納入必要額	学費(年額)			諸会費
			入学金	授業料	教育充実費	学会費
脳科学研究科	1,210,000	705,000	200,000	854,000	156,000	—

(1) 入学金は初年度のみ徴収します。学内出身者(本学卒業生・本学大学院修了生)の入学金は2分の1です。

(2) 授業料・教育充実費については、各々2分の1が春学期学費及び秋学期学費です。

(3) 入学手続時納入必要額は、入学金全額及び春学期学費です。

(4) 長期履修学生については、本記載内容とは異なります。詳しくはホームページをご参照ください。 (https://www.doshisha.ac.jp/admissions_graduate/payment/long_course.html)

■ 第2年次・第3年次・第4年次・第5年次

(単位:円)

研究科	年次	授業料	教育充実費
脳科学研究科	第2年次	1,054,000	156,000
	第3年次	825,000	162,000
	第4年次	1,025,000	162,000
	第5年次	1,025,000	162,000

司法研究科(法科大学院) 2024年度入学生 学生納付金

■ 第1年次

(単位:円)

入学手続時納入必要額	入学金	単位授業料(1単位につき)	教育充実費
278,500	200,000	37,000	157,000

(1) 入学金は初年度のみ徴収します。学内進学者(本学卒業生・本学大学院修了生)の入学金は2分の1です。

(2) 単位授業料については、各学期における登録単位数に応じて徴収します。教育充実費については、上記の2分の1が春学期学費及び秋学期学費です。

(3) 入学手続時納入必要額は、入学金と春学期教育充実費です。初年度春学期の単位授業料については、入学後、科目登録を終えてから徴収します。

■ 第2年次・第3年次

(単位:円)

単位授業料(1単位につき)	37,000
教育充実費(年額)	157,000

※諸会費として、法学未修者は第3年次、法学既修者は第2年次に、卒業生団体会費を徴収します。

ビジネス研究科ビジネス専攻(ビジネススクール) 2024年度入学生 学生納付金

■ 第1年次

(単位:円)

入学手続時納入必要額	入学金	単位授業料(1単位につき)	教育充実費
313,500	200,000	50,500	227,000

(1) 入学金は初年度のみ徴収します。学内進学者(本学卒業生・本学大学院修了生)の入学金は2分の1です。

(2) 単位授業料については、各学期における登録単位数に応じて徴収します。教育充実費については、上記の2分の1が春学期学費及び秋学期学費です。

(3) 入学手続時納入必要額は、入学金と春学期教育充実費です。初年度春学期の単位授業料については、入学後、科目登録を終えてから徴収します。

(4) 長期履修学生については、休学期間及び学籍のない期間を除いて入学時から通算2年を超えた学期から、教育充実費を2分の1とします。ただし、認められた修業年限を超えて在籍した場合は、この減免措置を適用しません。

■ 第2年次

(単位:円)

単位授業料(1単位につき)	50,500
教育充実費(年額)	227,000

※諸会費として、第2年次に卒業生団体会費を徴収します。

出願の流れ

研究科によって手続きが異なります。詳細は各研究科の入試要項をご確認ください。

研究者を調べる

同志社大学「研究者データベース」にて、研究科別、研究分野別、キーワード等で研究者を調べることができます。研究科によっては、出願前に希望する指導教員に研究テーマを相談する必要がある場合や、研究者データベース以外の本学のWebサイトを確認し、指導教員を探す必要があります。

■ 研究者データベース <https://kendb.doshisha.ac.jp/>



入試説明会に参加する

各研究科で説明会を実施しています。

■ https://www.doshisha.ac.jp/admissions_graduate/info/graduate/exam_guide.html



入試要項(願書)を入手する

● Webサイト

大学院願書／1,000円(送料込)
脳科学研究科・法科大学院・ビジネス研究科／無料

■ 同志社大学 資料請求フォーム <https://www.umcnavi.jp/doshisha/>



● 各キャンパス

今出川キャンパス(門衛所)、京田辺キャンパス(門衛所)
東京サテライト・キャンパス、大阪サテライト・キャンパス
無料

出願に必要な情報を確認する

出願期間、入学検定料支払期限、出願書類を入試要項でご確認ください。不明な点がある場合は、入試要項の裏表紙の各研究科事務室または、入学課にお問い合わせください。また、外国人留学生の方は、「2024年度大学院外国人留学生入学試験要項」を確認してください。

出願手続きを行う

● 検定料を支払う

金融機関(ゆうちょ銀行、ATM不可)またはコンビニエンスストアで納入します。

● 出願書類の提出

入試要項に記載の所定の方法で、提出してください。

今出川校地

★重要文化財 ★国の登録有形文化財



烏丸キャンパス

- 1 アーモスト館 ★
- 2 光塩館
法学部・法学研究科事務室
- 3 啓明館 ★
- 4 待辰館
- 5 神学館
神学部・神学研究科事務室
- 6 到達館
- 7 有終館 ★

- 8 弘風館
情報教室、グローバル教育センター、日本語・日本文化教育センター、入学センター
- 9 明德館
食堂、コンビニ、カフェ、学生ラウンジ
- 10 徳照館
文学部・文学研究科事務室
- 11 図書館
- 12 クラーク記念館 ★
キリスト教文化センター
- 13 至誠館
商学部・商学研究科事務室

- 14 扶桑館
国際センター、国際交流ラウンジ
- 15 ハリス理化学館 ★
同志社ギャラリー
- 16 同志社礼拝堂(チャペル) ★
- 17 彰栄館 ★
- 18 真義館
- 19 寧静館
- 20 博遠館

- 21 良心館
情報教室、今出川キャンパス教務センター、経済学部・経済学研究科事務室、ラウンジ、食堂、コンビニ、書庫
- 22 志高館
情報教室、グローバル地域文化学部事務室、グローバルスタディーズ研究科事務室、アメリカ研究科事務室、総合政策科学研究科事務室、国際教育インスティテュート事務室

室町キャンパス

- 23 寒梅館
学生支援センター、キャリアセンター、カウンセリングセンター、保健センター、司法研究科事務室、ビジネス研究科事務室、ハーティーホール、クローバーホール

新町キャンパス

- 24 新創館
- 25 尋真館
- 26 臨光館
情報教室、社会学部・社会学研究科事務室、政策学部事務室、新町カフェテリア
- 27 淡水館
- 28 学生会館(本館)
クラブ・サークル部室、練習場、会議室、シャワー室、新町ショップ、ラウンジ、購買
- 29 新町別館
クラブ・サークル部室、練習場

京田辺校地



京田辺キャンパス

- 1 真誠館
体育関係の練習場
- 2 磐上館
スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科事務室
- 3 デイヴィス記念館
体育館兼講堂
- 4 紫苑館
食堂
- 5 香知館
- 6 成心館
京田辺キャンパス教務センター、学生支援センター

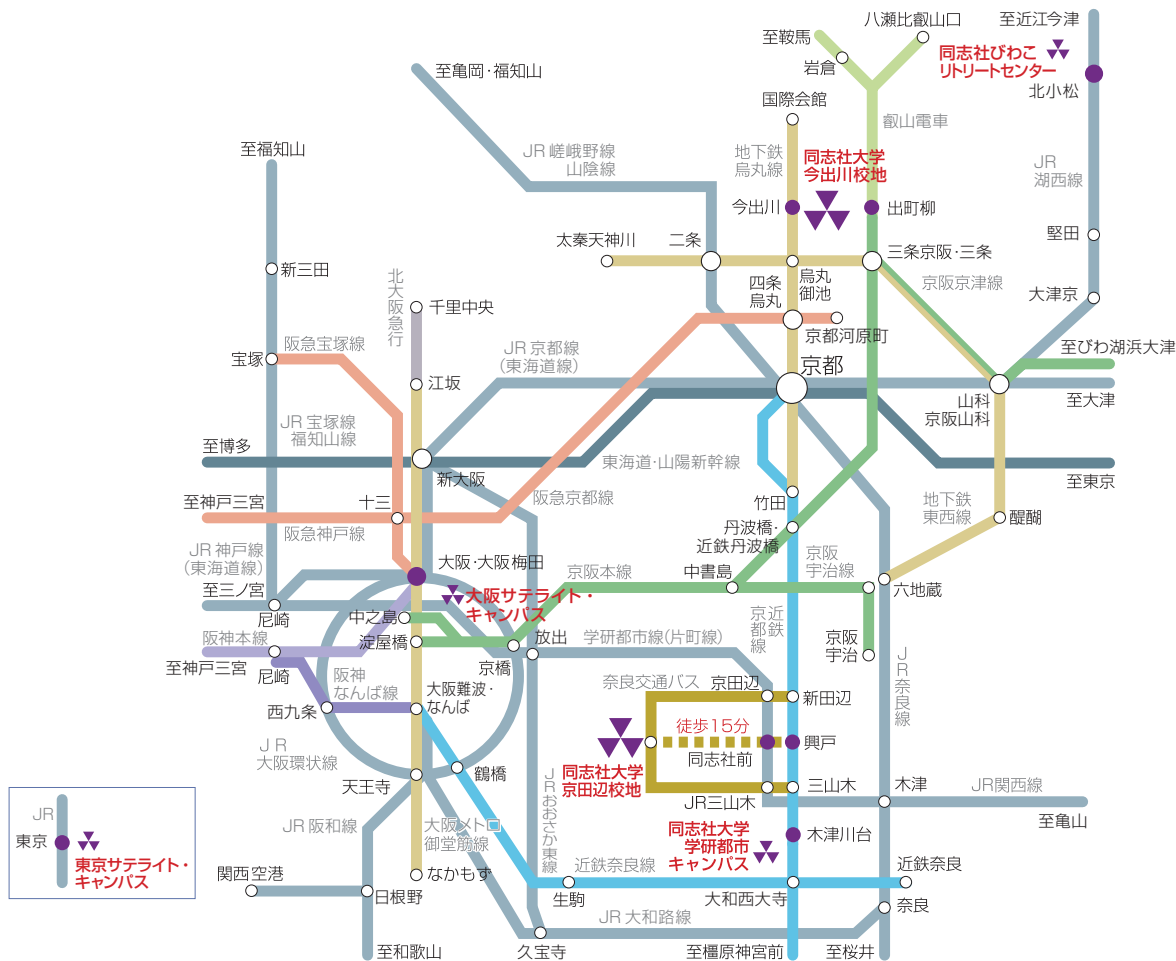
- 7 理化学館
理工学部・理工学研究科事務室
- 8 創考館
共同実験棟
- 9 香柏館
心理学部・心理学研究科事務室、グローバル・コミュニケーション学部事務室
- 10 日糧館
食堂、おいしんボ横丁、購買、書籍店舗、旅行カウンター
- 11 知真館3号館
- 12 恵道館
- 13 嶺真館
情報教室

- 14 ラーネット記念図書館
- 15 京田辺別館
文化系クラブ・サークルBOX、音楽・演劇総合練習場(音楽・コラス・演劇各練習場、アトリエ、会議室など)
- 16 知真館2号館
歴史資料館
- 17 知真館1号館
カウンセリングセンター
- 18 嗣業館
国際センター、キャリアセンター
- 19 交隣館
講師控室、ラウンジ、共同研究室
- 20 同志社ローム記念館
リエゾンオフィス、プロジェクトルーム

- 21 情報メディア館
情報教室、ITサポートオフィス
- 22 新島記念講堂
- 23 夢告館
文化情報学部・文化情報学研究科事務室
- 24 光喜館
- 25 恵喜館
- 26 業成館[D-egg]
- 27 医心館
生命医科学部・生命医科学研究科事務室
- 28 知証館北館
機械系実験実習棟、機械実習工場、機械実習工場別棟

- 29 知証館 南館
自然系等実験実習棟、電気系実験実習棟
- 30 訪知館
脳科学研究科事務室
- 【同志社京田辺会堂】
- 31 言館[KOTOBA-KAN]
礼拝堂
- 32 光館[HIKARI-KAN]
キリスト教文化センター施設

アクセス Access

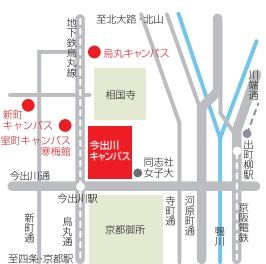


今出川校地

- 地下鉄「今出川」駅下車、徒歩1分
- 京阪「出町柳」駅下車、徒歩15分

【設置研究科】

神学研究科 / 文学研究科 / 社会学研究科
 法学研究科 / 経済学研究科 / 商学研究科
 総合政策科学研究科 / グローバル・スタディーズ研究科
 司法研究科 / ビジネス研究科



京田辺校地

- 近鉄「興戸」駅下車、徒歩15分
- 近鉄「新田辺」駅下車、バス10分
- 近鉄「三山木」駅下車、バス7分
- JR「同志社前」駅下車、徒歩10分

【設置研究科】

文化情報学研究科 / 理工学研究科
 生命医科学研究科 / スポーツ健康科学研究科
 心理学研究科 / 脳科学研究科



※今出川キャンパスから京田辺キャンパスまで電車・徒歩で約60分

学研都市キャンパス

- 近鉄「木津川台」駅下車、徒歩15分



大阪サテライト・キャンパス

- JR「大阪」駅下車、徒歩3分
- JR「北新地」駅下車、徒歩3分
- 大阪メトロ御堂筋線「梅田」駅下車、徒歩3分
- 大阪メトロ谷町線「東梅田」駅下車、徒歩3分

平日の夜間(18:25~21:35)にビジネス研究科の授業を開講しています。また、就職活動の支援も受けられます。



東京サテライト・キャンパス

- JR「東京」駅八重洲南口から徒歩6分
- 東京メトロ銀座線「京橋」駅下車、徒歩1分
- 都営浅草線「宝町」駅下車、徒歩3分

各種証明書発行、PC利用、更衣室利用、荷物預かりなど東京での就職活動をサポートしています。

